

2009年度

| | | | |
|--|---|-----|-------|
| 科目名 | 社会福祉援助技術現場実習指導 I | | |
| 担当教員 | 船本 淑恵、神部 智司 | | |
| 配当 | 教福2 | コード | 12480 |
| 開期 | 後期 | 講時 | 月曜日2限 |
| | | 単位数 | 1 |
| 授業テーマ | 社会福祉援助技術現場実習に向けての基礎学習と準備 | | |
| 目的と概要 | 社会福祉援助技術現場実習の意義を理解し、実習に向けての基礎学習と各自の実習課題の明確化を図る。施設・機関・団体などに関する基礎的知識や具体的な実習内容など、現場実習に関して総合的に学習する。現場経験の豊富な教員の講義や施設見学、実習経験者の報告を聴講し、現場実習のイメージを醸成し、各自の実習に向けての課題を深める機会とする。 | | |
| 成績評価法 | 平常点・授業時レポート:80% 期末レポート:20% | | |
| テキスト | 『社会福祉小六法2009』(出版社は指定しない)。 『国民の福祉の動向 2008年』/厚生統計協会 | | |
| 参考書 | 随時紹介する。 | | |
| 履修に当たっての注意・助言 | 現場実習は、理論と実践をつなぎ、人間理解を深める総合学習です。そのため、他の専門科目と関連させて実習経験を理解することが必要となります。その心構えをもって実習指導を受講してください。 | | |
| 講義計画 | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉援助技術現場実習の意義と位置づけ 現場実習の意義と学習事項の理解 実習指導日程の確認等その他必要事項の伝達 2. 社会福祉施設の理解1 社会福祉説の機能と役割 3. 社会福祉施設の理解2 社会福祉施設の現状と課題 4. 相談機関・団体などの理解 相談機関・社会福祉協議会などの機能と役割 5. 社会福祉施設における実習 社会福祉施設における実習内容について学び、実習テーマ検討の材料とする。 6. 相談機関・団体などにおける実習 相談機関や団体などにおける実習内容について学び、実習テーマ検討の材料とする。 7. 社会福祉施設見学 社会福祉施設を訪問し、社会福祉現場の理解を深める。実習において求められる学習態度などを学ぶ。 8. 実習報告の聴講 実習経験者の報告を聴講し、実習に向けての心構えや事前準備などを理解する。 | | | |